

ひろば

第12号 2014年7月26日

吹田ホスピス市民塾

発行者：小澤和夫

吹田市藤が丘町 27-1-405

TEL/FAX 06-6388-6257

e-mail : ozak200@nifty.com

吹田ホスピス市民塾

時代と市民のニーズに応じて大きく転換を

～会員さん一人一人が、できる範囲で参画を～

会長 小澤 和夫

1. 時代は大きく動いている

(1) 国・大阪府、活動が活発に：

- '07年4月：がん対策基本法、成立。がん対策が、各都道府県に展開・拡大。
- '11年4月：大阪府がん対策推進条例、成立。大阪府がん対策推進委員会、活動開始。
- '12年度：厚労省、がんピアサポーター研修テキスト、策定。
- '13年度：厚労省、がん患者サロン研修テキスト、策定。

(2) 吹田：活動の画期的な協働体制が進展：

- 「吹田がん情報コーナー」(5月から毎月2回午後、吹田市役所ロビー)：吹田市民病院が後援。当塾が'08年度から「みんなの健康展」に参加。毎年200～250人の市民の皆さまとの話し合いから、多くの市民が「がん情報」の探し方に悩んでおられることを知ったのが契機。
- 「吹田在宅ケアを考える会」(代表世話人：吹田市民病院 副院長 村田幸平氏)：'14年5月、「吹田在宅ケアネット」に改称、組織の見直し・拡大を図って、実践活動を目指す。
- 立花隆氏講演会(10月19日(日)メシアター大ホール)：吹田市民病院と共催。
- ピアサポーター研修(2月から開始)：済生会千里病院が支援。

2. 会員の皆さんへのお願い：

- (1)「吹田がん情報コーナー」：周囲の皆さんにお知らせ頂き、多くの市民の皆さんが気楽に相談に来て頂けるように。なお、「吹田がん患者・家族会」も、毎月1回開催。(2頁参照)
- (2)「ピアサポーター研修」(がんを体験した人やご家族がピア(仲間)としてがん患者さんやそのご家族などを支援)：2月、6月に実施。今年は、あと9月15日(祝)のみ。周囲の皆さんにお知らせ頂き、ご関心があれば参加を(定員15名)。(3頁参照)
- (3)立花隆氏講演会：当日の準備委員を40名募集中、是非、参加を。周囲に喧伝して、チケットの販売に力を(定員1,400名)。(4頁参照)

3. お知らせ：

- (1) 淀川キリスト教病院・ホスピス・こどもホスピス病院の見学(9月22日。4頁参照)
- (2) 公開講座：今年の後半で、3回の予定。

4. その他：当市民塾の活動は、吹田市報、ホームページ・ブログをご覧ください。

不明の点は、何なりとお問い合わせください。

夢：「がんになっても安心して暮らせる吹田の街づくりを」

「吹田がん情報コーナー」スタート

さる5月15日、長らくの懸案であった「吹田がん情報コーナー」が、吹田市役所ロビーで、毎月2回（原則として1、3木曜日）スタートしました。

当コーナーは、市民塾が2008年から参加している「吹田みんなの健康展」に来られる市民の多くが、得たいと願ってもがん情報をうまく入手できないでおられることがわかり、情報サロンの必要性を感じていた。

この度、市立吹田市民病院のご後援を頂き実現の運びとなった。

期待と不安の中、開始以来今日（6月12日）が3回目だが、合計8人の相談者がお越しになり、それぞれのお話を聞かせて頂いた。

吹田市の市報をご覧になってコーナーを訪問される方は少なく、大半は何かほかのご用で市役所に来られ、その序にコーナーを覗いて行かれるケースが多い。

まだ3回程度の経験で多くを語るの難しいが、心配の対象はご両親であったり、配偶者であったり、友人であったりと様々だが、ご本人には直接言えずひそかに心配されているご様子を感じられ、お一人で苦しんでおられるやさしさを垣間見る今日この頃です。

またご本人がお見えになり、10年以上も前にがんにかかれ、その時は家の柱としての立場から、何としても病気を克服しなければの一念から施術、抗がん剤治療を続けられ今日に至ったが、今般再度がんの告知を受けた。

しかし、今回はもう頑張らなくても良い状況なのでこのまま死を迎えようとしている。ただ末期の苦しみだけは何とかして避けたいのだが、何か方法はないか。

たとえばホスピス病棟に入れるよう、今から手を打っておくことが出来ないだろうかとのことで、情報を頂けないかのご相談。

現状のホスピス病院がこの種の相談には対応できないと思われるので、現在かかっておられる病院に相談されてはどうかとお答えしたが、果たしてこれでよかったか。

会員の皆さんも現在開催している「ピアサポーター研修」に積極的に参加してピアサポーターのスキルを身につけ「吹田がん情報コーナー」で存分に力を発揮してみてもどうでしょうか。



吹田市役所ロビーにて

このコーナーでの経験を活かし吹田市内のがん診療連携病院に「がん患者サロン」ができるときには、いつでもお手伝いができるように準備をしたいと考えています。

更には、「吹田がんサロン」を作って運営をしていきたい夢も持っています。そして将来の夢は私たちの活動がなくても「がんになっても安心して暮らせる吹田の街」になることです。

（副会長 吉田 昭）

ピアサポーター研修の経過報告

ピアサポーター研修について、途中経過ではありますがご報告させていただきます。

本番に先立って、まずは関係者のみで2月に「お試し」研修会を行いました。会員12名に加え、済生会千里・吹田両病院の専門看護師さんなど4名の方々にも出席を頂き、また講師として同千里病院MSWであり会員でもある松井久典さんに、会場の提供から当日の運営までご尽力を頂いたお蔭で、大変好調なスタートが切れたと思います。

そしていよいよ6月22日（日）、第1回目開催。講師として阪大の相談室から福森さん、吹田市民病院の相談室から齋藤さん、そして松井さんにも会場含めお世話になることとなり、3名の素晴らしい講師陣（MSW）にお願いする事が出来ました。また松井さんの知人、兵庫

医大の大松重宏先生にも、ゲストコメンテータとして出席を頂きました。

一方、一般からも11名の方々がお集まり頂きました。会員の勧誘のみならず、ネット上などで情報を入手された方も何人かおられ、改めてこのテーマの重要性、はたまた将来性を認識した次第です。

結局当日は25名という大所帯で、研修は幸先よく始まりました。一般の皆さまも、がん経験者・サロンの従事者・福祉関係の方等々、それぞれの立場で非常に強い思いを持って研修会に参加されたことが、発言の中からも垣間見られました。

講義内容は厚労省のテキストに則り、福森さんからはピアサポートの根本的な定義等、斎藤さんからは実際の面接演習を交えた相談時の注意点等、そして松井さんからはピアとサポーターのコミュニケーションの取り方について等、延べ約5時間の講義を受けました。そして合間には大松先生の鋭い指摘や的を得た助言を頂き、一層内容の深い研修となりました。またDVDについても、その内容がすべて正解ではなく、実際の現場での実践においては、少しずつ対応も変えていく必要があることを学びました。

そして最後には、松井さんの絵本「ちょっとだけ」の奥深い朗読で、無事1回目の研修は終了しました。

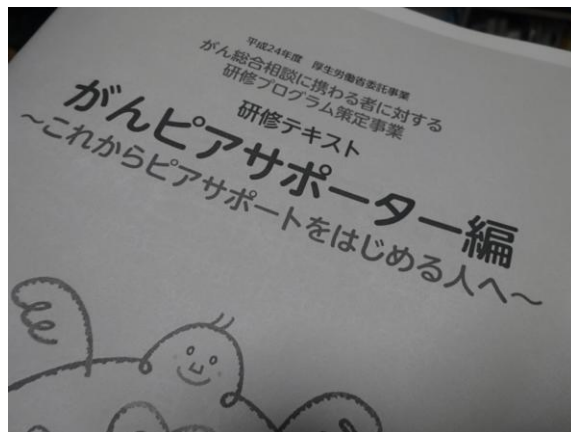
ご参加下さった市民の皆さまに、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。また講師をお引き受け頂いた皆さん、そして当日のスタッフの皆さん、本当にありがとうございました。

尚、終了後大松先生から、市民塾の活動について幾つかの助言も頂きましたが、まだまだ曲折のある活動の中、あせらず一歩ずつ実現していければと思います。

次回（9月15日祝）は今回に引き続きテキストとDVDを使つての研修になります。

会員の皆さんでまだご参加でない方も、是非ご自身のスキルアップを図るべく、奮ってご出席の程お願いいたします。また、お知り合いにもお伝えください。

（会員 松永文緒）



次回のピアサポート研修

9月15日（祝）10～16時

済生会千里病院

定員：15名 お早めにお申し込みください

受講料：無料。

資格：がん患者・家族及び関心をお持ちの方

吹田ボランティアフェスティバル

に初参加

第16回吹田ボランティアフェスティバルが5月25日（日）午前10時から、吹田市役所駐車場で開催されました。

当市民塾は初めての参加でした。

当日は朝から快晴、5月とは思えないほどの暑さでした。

ブースには「吹田ホスピス市民塾」の横断幕、そして今年の三大テーマである①市役所ロビーで開始した「がん情報コーナー」②ピアサポーター養成講座 ③10月に行われる「立花 隆氏講演会」を大書した看板を立てました。

会場には舞台も設けられ、参加者による歌体操やゴスペルなどが賑やかに行われました。

市民塾のブースは舞台から少し離れたところにあり、少し静かにお話もできる環境でした。約150名の方々に資料をお渡しし、お話をしました。

がんで家族を亡くされた方、現在闘病中の方、医療関係者でこれからがんに関する取り組みをしようとしている方など、それぞれの方々に当塾の理解を深めていただき、支援の言葉をいただきました。

これからの活動をしっかり、会員同士協力していきたいとの思いを新たにしました。



第 31 回健康に出展

毎年、メイシアターにて 健康チェック広場、健康づくり広場をはじめ、歯の健康や薬、栄養・医療・看護関係・介護関係の展示やイベント広場など多彩な催しが実施されています。

吹田ホスピス市民塾も参加 7 年目。毎回 200 名以上の方々とお話しをしています。

私たちの活動が市民の方に認知して頂ける良い場だと思っています。

ブースでのお手伝いもよろしくお願い致します。

2014 年 9 月 6 日 (土) 13:00~17:00

7 日 (日) 10:00~16:00

吹田ホスピス市民塾

HP <http://suita-hosupisu.jimdo.com/>

ブログ http://blog.goo.ne.jp/mangopurin_2013

お知らせ：立花 隆氏講演会

2014 年ビックイベントはジャーナリスト立花 隆氏を迎えての講演会です。

自らのがん体験から、がんとは何なのかを科学の目で捕え、その謎に迫ります。

私たちは、がんとどう向き合って生きればよいのか。

2010 年鎌田 實氏、2012 年 A. デーケン氏の講演会では、生き方・心のあり方などメンタルな部分を中心としたお話でした。

今回はがんとはいったい何なのか、科学的な知識を学びたいと考えました。

著名なジャーナリスト立花 隆氏の膨大な知識のつまった脳のごく一部ですがのぞかせていただけるかも……。乞うご期待。

立花 隆氏講演会

『がんどう向き合うか』

2014 年 10 月 19 日 (日)

13:30~15:30 (開場 12:30)

メイシアター大ホール (定員 1400 人)

入場料 500 円

(販売: 会員、メイシアタープレイガイド)

*当日 30~40 名のお手伝いをお願いしたいと思えます。お手伝いいただける方、ご連絡願います。(小澤まで)

8 月 23 日 (土) 定例会 13:30~デュオ

お手伝いいただける会員の皆さまのご出席をよろしくお願いいたします。

*チケットの販売方も願います。

その他：淀川キリスト教病院

ホスピス・こどもホスピス病院の見学

9 月 22 日 13:00~15:00 申込先着 20 人

申込: 小澤まで

☆いろいろな企画があります。会員の皆様のご参加やご意見お待ちしております。